

## 各施策の「重み付け」欄の概要

### 1 概況

106の施策の「重み付け」欄の概況は、「客観指標重視」が56施策、「市民実感重視」が50施策となっており、ほぼ半々となっている。

|          | 客観指標重視 | 市民実感重視 |
|----------|--------|--------|
| 第1章（安らぎ） | 25 施策  | 20 施策  |
| 第2章（華やぎ） | 26 施策  | 23 施策  |
| 第3章（信頼）  | 5 施策   | 7 施策   |
| 合計       | 56 施策  | 50 施策  |

### 2 特徴

#### （1）客観指標重視の施策

対象者が限られる分野（例えば、1133 障害のある子どもの教育の推進、2235 大学・学術研究機関の振興）や、施策の成果がすぐに市民実感に反映されにくい分野（例えば、2311 保全・再生・創造を基調とするまちづくり、3420 公共事業の再評価）などの施策において、「客観指標」を重視している。

#### （2）市民実感重視の施策

市民全般を対象とし、かつ直接的に施策効果が実感されやすい施策などにおいて、「市民実感」を重視している。

（例えば、1225 子どもたちがのびのびと健やかに成長できるしくみづくり、1332 消費者が自立し安心してくらせるまちづくり）